

平成22年度 事業報告書

「財団法人 世界聖典普及協会寄附行為」第4条に基づき、平成22年3月31日開催の当協会理事会で承認された「平成22年度事業計画」に沿って、次のように事業を遂行しました。

1. 事業の状況

(1) 生長の家教義および宗教・光明思想に関する月刊誌・聖典・書籍・製品等の頒布・取扱い事業の実績を以下の内訳でまとめました。

① 「生長の家」教義普及のための月刊誌を国内・海外に頒布しました。

② 毎月発行する生長の家機関誌を取り扱いました。

③ 講話CD・カセットテープ・DVDを始め、生長の家聖歌等の音楽CD・カセットテープ・書籍およびビデオテープ等の既発行製品に、本年度当協会で作成した新製品(以下12点)を加えて頒布しました。

【新製品CD・他】

イ、『希望の泉』④～⑩	谷口 雅春 講話
ロ、『輝く日々の言葉』	谷口 雅宣 著・絵
ハ、『ポスティングジョイ葉書セット』	宗教法人「生長の家」 出版・広報部 企画

【新刊書】

イ、『小閑雑感 Part 15』	谷口 雅宣 著
ロ、『小閑雑感 Part 16』	谷口 雅宣 著
ハ、『小閑雑感 Part 17』	谷口 雅宣 著

④ 生長の家総裁・谷口雅宣先生をはじめ、前生長の家総裁・谷口清超先生、生長の家創始者・谷口雅春先生並びに、生長の家白鳩会総裁・谷口純子先生、生長の家前白鳩会総裁・谷口恵美子先生、聖姉 谷口輝子先生の新刊書および既刊の諸著作(監修を含む)を生長の家主要行事等の開催機会を通じて頒布しました。

【主要頒布品】

イ、聖經類／『生命の真相』	谷口 雅春 著
ロ、『日時計日記』	谷口 純子 監修
ハ、『小閑雑感 Part 1～17』	谷口 雅宣 著
ニ、『"森の中"に行く』	谷口 雅宣／谷口 純子 著
ホ、『こんなところに……』	谷口 雅宣 著

⑤ 生長の家の真理を実践する人々の信仰体験、信仰随想等の既刊書および繁栄・治病・健康・教育・人生問題の解決等に関する諸著作として、『いのちを描く』等の新刊書、既刊諸著作を頒布しました。

- ⑥ 宗教・歴史・文化・精神科学・哲学・環境問題等に関する諸著作として、『詩集 光の四季』等の新刊書、また既刊の諸著作を頒布しました。
- ⑦ 海外の生長の家伝道本部等で出版する聖典等の外国語翻訳本・月刊誌等を広く輸入し、低廉な定価を設定して、国内在住者に購入機会をより多く与えられるよう頒布に努めました。
- (2) 生長の家の宗教運動および伝道事業を助成し、併せて教化運動を促進するために、聖典その他のものを進呈ないし寄贈しました。
- ① 一般の人々の閲覧に供するため、生長の家教義に関する図書（『小閑雑感 Part 9・10・11・12』、『小さな奇跡』）を全国の国公立図書館に寄贈しました。
- ② 宗教法人「生長の家」、海外の伝道本部、海外教区および国内の被包括法人や関係団体等へ、聖典・月刊誌・書籍類（外国語翻訳本を含む）等を献本しました。
- (3) 宗教を中心とする慈善、厚生福祉、救護の業務及び助成に関して、以下の事業を行いました。
- ① 身体障害者を採用した各教区(宗教法人「生長の家」教化部に委嘱)に対し、その身体障害者の社会復帰を援助するために助成金を支給しました。
- ② WFP(飢餓救済HP)、(財)日本ユニセフ協会、(社)日本ユネスコ協会他、港区社会福祉協会、日本赤十字社等の福祉事業団体へ事業助成のため、寄付金を支出しました。
- (4) 生長の家国内教化部に対し資金面での助成を行いました。
- ① 生長の家国内教化部等に、聖典・書籍・月刊誌等の頒布に対して委託手数料等を支給しました。
- ② 生長の家国内教化部に対して月刊誌の送本業務を援助するために、年間購読月刊誌の数量に応じて配本費を助成しました。
- (5) その他、事業目的達成のため、以下の広報啓発活動および広告・宣伝を行いました。
- ① 生長の家教化部・地方普及部等への連絡紙の発行。
- ② 新聞、雑誌、インターネット等の媒体による聖典・書籍(外国語翻訳本)・月刊誌等の広告・宣伝活動および、ポスター・POP広告物等の製作掲示による頒布品のPR活動。
- ③ 環境保全活動を積極的に推進するため、太陽光発電装置等を利用して、CO2排出量削減に取り組みました。また、「生長の家」環境方針を受けて、環境マネジメントシステム14001の認証を維持しました。
- ④ 生長の家総裁、谷口雅宣先生のご文章や、『あなたもできるエコライフ』等を活用して、環境保全に関する啓発活動を行いました。さらに、環境省が推進する地球温暖化防止国民運動「チャレンジ25」のキャンペーンに参加し、環境保全活動を推進しました。

以上